



木製のローテーブルを置いてドライ  
 フラワーをディスプレイ。  
 天井と壁一面には無垢材を使用し、  
 無機質な土間空間にあたたかみをプ  
 ラスしています。



## 黒板のある家

### Y様邸DATA

家族構成：夫婦+子ども1人  
 敷地面積：225.75㎡ (68.29坪)  
 述べ床面積：144.23㎡ (46.63坪)



壁は100%自然素材のドイツ本漆喰。

漆喰は優れた吸湿・放湿性があり、空間の湿度を適度に調節することで結露を防止し、建物の耐久性を維持してくれます。



裸電球のようなデザインがかわいい  
 ペンダントライト。  
 どこか懐かしく、あたたかみのある  
 雰囲気をかもし出してくれます。

LDKから続く広い土間と大きな黒板が印象的なY様邸。窓から自然光が差し込み明るく居心地の良い土間は、お子様の遊び場のほか、奥様の趣味であるDIYの作業スペースや雨の日の洗濯物干しスペース等、使い方はさまざま。窓を開けると庭から心地よい風が入り、四季の移ろいを感じられる贅沢な空間です。

と、家族みんなで楽しみながら思い出を刻むことが出来ます。内装は、シックハウス症候群を引き起こす化学物質が気になり、「どうしてもビニルクロスには抵抗があります。」との奥様の声から、無垢フローリングと漆喰で仕上げました。塗料や防蟻処理剤にもこだわり、天然のものを選択。家族が健康的に、安心して暮らせる自然素材の家が出来ました。





## “住まいの顔” 外壁の選び方

自分たちの「想い」を詰め込めるのが注文住宅の魅力です。

長く大切に住むためにも、住まいの顔となる外観はこだわりたいものです。

屋根や外壁、窓やドアなど外観を形づくる要素はさまざま。アプローチや植栽、隣家との距離など、外観の印象は建物だけでなく、それを取り巻く環境すべてに左右されます。

外観は、住まいの第一印象となる場所です。

まずは、自分たちが「好き」と感じる価値観を確認するところからはじめてみましょう！

### 外壁デザインのヒントⅠ

#### 【外壁材】コストや耐性の違いを踏まえて選ぼう

最も普及率が高いのは、さまざまな法規制をクリアしやすいサイディングです。



#### サイディング

規制を想定しているため地域を問わず使いやすく、安価で種類が豊富。



#### 塗り壁

凸凹や塗り跡の質感から生まれる独特の表情が特徴。サイディングよりコストは高め。



#### ガルバリウム

軽くて錆びにくく、耐久性にも優れていることから人気が高い。価格もリーズナブル。

### 外壁デザインのヒントⅡ

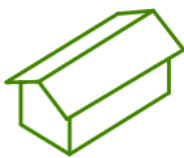
#### 【屋根の形状】法規制の確認をしよう

屋根は間取りの影響のほか、隣家との距離など法規制を受けやすい部分です。他にも入母屋屋根や差し掛け屋根などがあります。



#### 片流れ屋根

一方向にだけ勾配をつけた屋根のこと。採光がとりやすく、雨水もたまりにくいのが利点。



#### 切妻屋根

ふたつの傾斜面を持つ山形の屋根のこと。シンプルな形状のため家のテイストを選ばず使え、コストが安いのもメリット。



#### 陸屋根

平屋根とも呼ばれる、傾斜のない平面状の屋根のこと。ルーフトップテラスなど、屋上を空間利用しやすいメリットも。

### 外壁デザインのヒントⅢ

#### 【ドア・窓】配置と大きさが家の表情が変わる

都市部や住宅街では、家や屋根の形に法的な制約があるため、隣家と外観が似る傾向にあります。

窓など開口部の配置と大きさが印象を分けるので早めの検討が大切です。



### 外壁デザインのヒントⅣ

【アプローチ・植栽】植栽ひとつでスタイルは変化する家がシンプルであるほど、どんな植物があるかで印象は変わります。植える種類はもちろん、家のデザインにあった高さやスペースの確保も重要です。早めに計画をしましょう。



### 外壁デザインのヒントⅤ

【メンテナンス】色の濃淡よりも凸凹の有無をチェック 壁材の進化は目覚しく、薄い色でも汚れが付着しにくい素材がたくさん出ています。むしろ目立つのは、雨どいなどの突起物の下に出来る雨だれです。凸凹部の設置場所を工夫するのが大切です。